※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3014

令和５年度　数学科

教　科	数学	科　目	数学Ⅱ（通信）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新　高校の数学Ⅱ」（数研出版）						
副教材等	自作プリント等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日常生活に潜む数学や、その活用の仕方を学習する。レポートによって、授業内容を反芻し、考査や、日常生活の中で再生できるようになってもらいたい。また、知識の活用によって、生活水準の向上につなげてもらいたい。

２　学習の到達目標

・式の変形や数の分類、関数に関して理解し、考え方の幅を広げる。
・身近な概念や、法則を数理的に分析し、生活に活用することができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活との関連を図りながら、基本的な概念を理解し、知識を身に付ける。また、これらを用いて事象を数学的に処理する技能を身に付ける。	様々な事象を考え、知識を活用して物事を数学的に判断する力を身に付ける。さらに、その過程や結果を数学的に表現する。	方程式や複素数、関数に関心をもつとともに、数学の良さを認識する。また、事象の考察に対して積極的に活用しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	式の展開	展開の公式 分配法則	a:式を展開できる。 b:知識をもとに、数学的に事象を比較・判断することができる。 c:具体的な事象の考察に式の展開などを活用しようとしている。	レポート 机間指導 考査	レポート 机間指導 考査	レポート 机間指導
	因数分解	因数分解の公式 方程式	a:式を因数分解できる。 b:因数分解の公式の使い方を考える。 c:具体的な事象の考察に式の因数分解を活用しようとしている。	レポート 机間指導 考査	レポート 机間指導 考査	レポート 机間指導
後期	複素数	負の平方根 複素数 複素数の加法･減法 複素数の乗法 ガウス平面	a:複素数の概念を理解し、複素数の計算をすることができる。 b:複素数をガウス平面上に表す過程を考える。 c:具体的な事象の考察に複素数を活用しようとしている。	レポート 机間指導 考査	レポート 机間指導 考査	レポート 机間指導
	関数	平均変化率 関数のグラフ 式の値	a:関数に値を代入し、計算することができる。 b:関数を表・式・グラフに表す方法を考える。 c:具体的な事象の考察に関数を活用しようとしている。	レポート 机間指導 考査	レポート 机間指導 考査	レポート 机間指導

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度